

# [地域密着型金融推進計画]進捗状況一覧

(平成21年4月～平成22年3月)

稚内信用金庫

項 目	21年度の進捗状況
ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化	
事業再生	
<p>事業再生については、適切な事業再生計画の策定が必要である。従って、債務者と十分協議のうえ、真の再生に結びつく事業計画を策定し、早期再生に注力する。また、第三者の立場から関係者の利害調整ができる外部機関等の活用についても検討する。</p>	<p>事業再生については、当金庫は債務者の経営指導にあたり、かつ債務者と協議のうえ事業改善計画書を策定して取組んでおりますが、DES、DDS等の金融手法を活用しての事業再生については、当金庫取引先に活用できる該当取引先がないことから、活用事例はありません。</p>
<p>事業再生における金融手法は、DES、DDS等が考えられるが、当金庫取引先の規模等から、これらの手法は馴染まないものが多いが、必要に応じてこれらの手法も参考にしながら、事業再生手法を追求する。</p>	
<p>人材の育成については、業界対応(全信協)の研修プログラム(「目利き力養成講座」等)に積極的に参加し、その習得した知識を業務の中で活用する。また事業再生に向けた専門の人材、ノウハウの活用については、事例等が発生した場合に個別に検討する。</p>	
<p>○人事教育研修計画に基づき、「目利き力養成講座」1講座・1名、「目利き力実践講座」1講座・1名、他、各種関連研修13講座・64名派遣。 ○DES、DDS等の金融手法での事業再生事案はありません。</p>	
創業・新事業支援	
<p>当金庫融資制度「今がチャンス!!」およびビジネスサポート「飛躍」等により、資金面での支援を通じて地域経済の活性化を図る。</p>	<p>○融資制度 地域活性化まちづくりファンド「今がチャンス!!」 29件 887百万円の実行。 ○融資制度 ビジネスサポート「飛躍」 25件 130百万円の実行。</p>
<p>北海道信用保証協会および北海道の中小企業制度融資の活用を図る。</p>	<p>創業・新事業支援に係る融資実績 21先 564百万円の実行。</p>
経営改善支援	
<p>債務者区分のランクアップへの取組みを継続する。</p>	<p>取引先企業等42先の事業改善計画書を策定のうえ、財務内容等の健全化に向けた指導・支援を引き続き実施。また、15先に対して債務者区分のランクアップに向けた取組みを実施した結果、3先がランクアップ達成。 (要注意先→正常先1先、破綻懸念先→要注意先2先)</p>
<p>ランクアップに取り組む債務者については、別途、審査部・営業店で協議のうえ抽出し、また経営改善計画については、営業店と債務者が十分な協議のうえ策定し、ランクアップ実現に向けて取組むとともに、併せてランクダウンの防止にも努める。</p>	

# [地域密着型金融推進計画]進捗状況一覧

(平成21年4月～平成22年3月)

稚内信用金庫

項 目	21年度の進捗状況
<p>事業承継</p> <p>高齢化が進む当金庫営業地区内において、事業承継は大きな問題として意識せざるを得ない。従って、事業承継に係る相談等が生じた場合は、地域の情報ネットワーク等を活用し、積極的な関わりを図る。</p>	<p>当金庫職員の中小企業診断士が、「事業承継・後継者育成セミナー」(21.6.10)、「事業承継コンサルティング勉強会」(21.7.6)に出席。事業承継に係るノウハウの蓄積に努め、相談等があった際には、適切、かつ的確に提案アドバイスができるよう態勢を整備。</p>
<p><b>事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底</b></p>	
<p>目利き機能の向上をはじめ事業価値を見極める融資(不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の徹底)</p>	
<p>融資審査に当っては、企業の財務内容だけでなく企業の技術力、販売力、信用力、成長性等定性面も十分に考慮した総合的判断を行う。</p>	<p>引き続き、定量面のみならず定性面も考慮した総合的融資審査態勢及びキャッシュフロー重視の審査態勢を継続する。</p>
<p>キャッシュフロー重視の審査態勢を継続する。融資審査においては、不動産担保及び第三者保証は補完的位置付けとしており、特に、設備投資に係る長期融資案件については、申込時に示される事業計画と長期収支計画を精査のうえ妥当性を判断するなど、あくまでもキャッシュフロー重視の審査態勢を継続する。</p>	<p>引き続き、定量面のみならず定性面も考慮した総合的融資審査態勢及びキャッシュフロー重視の審査態勢を継続する。</p>
<p>不動産担保及び第三者保証に過度に依存しない融資審査を継続する。</p>	<p>○融資制度 ビジネスサポート「飛躍」25件 130百万円の実行。 ○融資制度 ビジネスサポート「飛躍」は22年度においても継続する。</p>
<p>人材育成については、業界対応(全信協)の研修プログラム(「目利き研修」等)に積極的に参加し、その習得した知識を業務の中で活用する。</p>	<p>○人事教育研修計画に基づき、「目利き力養成講座」1講座・1名、「目利き力実践講座」1講座・1名、他、各種関連研修13講座・64名派遣。</p>
<p>中小企業に適した資金供給手法の徹底</p>	
<p>エクイティの活用により、道内信用金庫と中小企業基盤整備機構が連携した投資ファンド「しんきんファンド」(18年8月参画)およびあおぞら銀行が立ち上げた事業再生ファンド「北海道しんきんリカバリ」(19年3月)に参画しているが、今後、当該ファンドを活用すべき事案が発生した場合は、積極的に検討する。</p>	<p>活用事例はありません。</p>
<p>資金供給力強化の観点から、プロジェクトファイナンス・シンジケートローン等は、手法のひとつとして案件により活用を検討する。</p>	<p>活用事例はありません。</p>

# [地域密着型金融推進計画]進捗状況一覧

(平成21年4月～平成22年3月)

稚内信用金庫

項 目	21年度の進捗状況
<b>地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献</b>	
<b>地域の面的再生</b>	
地域経済の活性化を目的としたクラスター事業の活動を積極的に支援し、特に「わっかない産業クラスター研究会」の一員として活動を継続するほか、「北海道地区産業クラスターサポート金融会議」に適宜参加し、投融資の機会を模索していく。	○クラスター事業に係る会議等については、開催の都度積極的に参加しており、会議を通じて得たノウハウを活かし、企業支援を図る。 ○わっかない産業クラスター研究会に当金庫役職員6名が参加。
稚内市が計画している中心市街地の活性化計画を含む「稚内市都市再生ビジョン」に積極的に参画するとともに、これらまちづくり政策に関連する創業・事業多角化等を支援するために創設した融資制度「今がチャンス!!」の推進を図る。	○融資制度 地域活性化まちづくりファンド「今がチャンス!!」 29件 887百万円の実行。
<b>地域活性化につながる多様なサービスの提供</b>	
地域金融機関として地域経済に貢献していくため、「お客様が当金庫に何を期待し、何を望んでいるか」を的確に把握するため、平成17年度より実施している「お客様満足度アンケート調査」を引き続き実施し、地域利用者の更なる利便性向上を目指すこととする。	○しんきん傷害保険付定期積金「スタート」取扱開始 ○「学資保険」取扱開始 ○融資商品「わかば子育て応援プラン」・「わかばリピートプラン」取扱開始 ○琴似支店(札幌市)開設 ○稚内市内の小学校と連携して、小学5・6年生を対象とした金銭教育を実施。 ○稚内しんきんビジネスクラブ「新入社員研修」を開催。 ○「札幌交響楽団稚内定期公演」の開催。 ○セミナー等の実施 稚内商工会議所と連携のうえ、各種セミナーを実施。 ・金融検査マニュアル説明会 ・特別講演会 司馬遼太郎と「オホーツク街道をゆく」 ・経営セミナー「地域活性化に向けて、地域事業者と金融機関がやるべきこと」 ○「交通安全運動」の実施(稚内市内) ○ビジネスマッチング事業「東京ビジネスサミット2009」へ取引先2社が出席。 ○「スキースクール」の開催。 ○情報誌「ジャスト・ナウ」で取引先企業等の情報を発信。 ○「景況レポート」で地域の景況を発信。
<b>地域への適正なコミットメント、公共部門の規律付け</b>	
地域において、地方公共団体およびその関連団体との取引・関係等は重要であるが、地方公共団体等との取引に係るリスクやコストを適切に把握していくことも必要である。従って、地方公共団体等との預貸金等取引状況を定期的に把握するとともに、コストについても見直しを随時検討する。	○15市町村に対し、各種の手数料等有料化を要望(21年11月)。 ○引き続き地方公共団体等の取引内容等を適切に把握し、コスト等についても見直しを検討する。